

稲垣浩 映画監督。時代劇と現代劇が明確に区分されていた日本映画に、"審をつけた現代劇"を提唱し、新風。

いながきひろし

日露戦争終・1905 = 東京で、新劇俳優の子に生まれる。

明治天皇没・1912 = 7歳：

第一次大戦始1914 = **9歳**：

__幼い頃から新派俳優として舞台に立ち、

原敬首相暗殺1921 = 16歳：

水平社結成・1922 = 17歳： __{日活向島撮影所}の俳優となるも監督を志し、

関東大震災・1923 = **18歳**：

__伊藤大輔や衣笠貞之助の助監督をするうち、

共産党事件・1928 = 23歳： *伊藤の推薦により、創設された{片岡千恵蔵プロダクション}に監督として入り、伊丹万作のシナリオによる「天下太平記」を監督第1作として発表。続けて伊丹脚本による「放浪三昧」「源氏小僧」、

世界恐慌・1929 = 24歳： 「絵本武者修業」等々の秀作を放ち、監督となった伊丹とともに{千恵プロ}を支える二本柱となる。

満州事変・1931 = 26歳： 「嘘の母」と、

五一五事件・1932 = **27歳**： __「弥太郎笠」は"股旅映画ブーム"のきっかけとなり、トーキー第一作「旅は青空」も高い評価を受ける。

芥川直木賞始1935 = 30歳： __{日活)に移り、山中貞雄と共同監督で「関の弥太ッペ」などの秀作を発表。

日中戦争始・1937 = 32歳：

大政翼賛会・1940 = 35歳： 「宮本武蔵」の連作を開始、

日米開戦・1941 = **36歳**： 「海を渡る祭礼」に続く、

創価学会検挙1943 = 38歳： *「無法松の一生」(伊丹脚本)で、その抒情性に完ぺきな表現を与えた。

敗戦・1945 = 40歳：

極東裁判決・1948 = 43歳： 戦後は伊丹の遺作シナリオによる精薄児問題をテーマにした「手をつなぐ子等」、

朝鮮戦争始・1950 = **45歳**：

独立回復・1951 = 46歳： __{東宝)に移り、

55年体制始・1955 = 50歳： *「宮本武蔵」でアメリカのアカデミー外国語映画賞を受賞、

国連加盟・1956 = 51歳： 島崎藤村原作の「嵐」など時代劇以外で評価された。

なべ底不況・1957 = 52歳： __"東宝時代劇"の頂点となった「柳生武芸帳」を製作、

イスタドラマ・1958 = 53歳： __カラーにリメイクした「無法松の一生」がベネチア映画祭グランプリとなるなど、国際的な評価も得たが、

美智子妃・1959 = **54歳**：

安保闘争・1960 = 55歳：

タイタイ病始・1961 = 56歳： *傑作「野盗風の中を走る」以後は、スタープロの大作に巻き込まれて精彩を失い、

また、戦後は藤木弓の名で書いた脚本も多い。

電ヶ関ビル・1968 = **63歳**：

石油ショック1973 = 68歳：

JALハイジャック・1977 = **72歳**：

貿易摩擦始・1980 = 75歳： __没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、